

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第168号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F

TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2016年11月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1、2、3
- 新事業・新技術支援フォーラム 3
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 4、5、6、7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

<イグレン新グループ設立に関する次回会合のご案内>

イグレンが新しいグループづくりを行うという事で昨年10月より説明会&意見交換会を行っています。企業経営者を始め行政に携わる方や県OB、会員の方などにご参加頂いており現在意見を集約中です。

イグレンニュースをお読み頂いている会員の方にとっては他業種との交流を深めるチャンスであり、ビジネス拡大につながる可能性もあります。また、第一線から離れておいでの方にとってもご自身の経験を多くの方に役立ててもらえるという貢献の場でもあります。今後、何度か討議を重ねた後、新グループを設立します。次回はスピーカーとしてリニュアルプロデュース代表の有馬 俊一氏をお迎えし、下記の通り行いますので、奮ってご参加下さいませ。是非、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

【日 時】 : 2016年11月24日(木) 18:00~20:30まで(懇親会付)

相手のビジネスを応援するその
先にビジネスチャンスあり！！
自分達で新グループを立ち上げよう



【ゲストスピーカー】リニュアルプロデュース代表の有馬 俊一氏

【内 容】シニアからの行動指針

< イグレンセミナーを終えて >

イグレン広報 : 宗和

2016年11月7日(月)、神奈川中小企業センター6F大研修室にてイグレン主催によるセミナーを行いました。今回のセミナーではお二方に講師としてご登壇頂き、アジアやインドにおけるビジネスの現況についてお話しいただきました。講師としてお話頂いたのはNPO法人アジア起業家村推進機構 アジア経営戦略研究所の増田辰弘所長と株式会社トウメイエンジニアリングの代表取締役社長 東明 豊 氏です。

まず最初に増田所長より「アジアビジネスおもしろ話 !!! 下駄ばきビジネス化した近隣地域(国)」と題したお話を頂きました。近年、日本企業によるアジア進出が活発で2015年度の統計をみると年間利益が9兆円、M&Aも好調でこの投資額も2兆円を超えているようです。以前と異なる点は各企業が事業の多角化を推進しているところだと言います。企業が海外に進出する場合、初期投資をいかに抑えるか重要なポイント。そして、現地の人とどの様に向き合っていけばよい結果が得られるのか、現地での採用や教育に関して日本式のスタイルも導入しながらお互いWin,Winの関係が築けるようにすることが事業展開上必要との事。そして、社員とのコミュニケーションを取ることが何より大事だと言います。実際の例としてTBSのラオス進出、日光金属のロストワックス生産に伴うカンボジア進出、極楽湯の中国戦略について伺いました。個人的に感じたのは日本人の「相手を思いやる心」でした。顧客満足度を中心とした戦略は海外でも評価に値するという事です。その他、日本、韓国、中国における工業化の歴史や変遷についてもお話頂き各国のお国事情が見えた楽しいひと時でした。



<増田さんの著書> 『成熟期を迎えたアジアに羽ばたく日本企業』がこの度出版されました
皆様是非お読みください。

次に、株式会社トウメイエンジニアリングの代表取締役社長 東明 豊 氏より「難関インドビジネスに挑戦 -未来のためのチャレンジャー-」という内容でお話をいただきました。株式会社トウメイエンジニアリングさんは1977年機械設計事務所として開設し、その後社名変更。間もなく40年目をお迎えの会社です。今回はわざわざ岐阜よりお出まじいただきお話を伺いました。まず、2009年の社長就任直後の2010年、インドに進出したのは何故か?という事ですがまず、①2008年に起きたリーマンショックで客が外に出た事によるグローバル化推進の必要性があった。②日本の人口の約10倍という巨大マーケットにニーズがある事。③親日的である事④技術やITなどの革新的技術の活用⑤賃金が安い、などが挙げられるようですが何より自分のフィーリングにあっていたと言います。インド参入の際は当初、日経企業のサポートとしてオートメーション、自動化、省力化につながる設備などを入れていたようですが、その後、物づくりより設計や解析といったオフショア開発に力を入れるようになってきたそうです。インドは州の力が国より強く州が変わると言葉も変わるとの事で難しい面もあるが勤勉で計算も早く頭が良い。仕事に対してはプライドを持っていて責任感も強いとの事です。インド進出に失敗する企業も少なくない中うまく経営をされておいでです。今後の海外進出のお手本になるのではないのでしょうか。

今回のお二人の話を聞いていて感じた共通点は相手の国や民族性をちゃんと理解したうえで付き合っていくことが大切で、日本の良いところと現地の融合こそが企業が海外進出をする際の秘訣かなあと感じました。とても興味深く聞けた話で参加者の皆さんからも質問が飛び出し大盛況でした。



<東明 社長>

NPO 法人アジア起業家村推進機構 アジア経営戦略研究所の増田 辰弘 氏 略歴
http://www.im.i.hosei.ac.jp/IMHP/MenuGroup2/Data_Kyoin/MasudaTastuhiro.htm

株式会社トウメイエンジニアリング <http://www.tomei-eg.com/>

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポート

イグレン事務局 松井利夫

第46回フォーラムは平成28年10月28日に開催。今回は鶴野さんから、防衛大で行った蒸気性質(エンタルピー測定)を皮切りに伝熱工学、ガスタービン、工学、ガスタービン、内燃機関の研究経験が述べられた。次に、10月27日に行われたスターリングエンジンの講演会で話されたポイント、そして本題であるが瞬間開閉が可能な弁(海法俊光氏考案)について説明があり、この弁の用途と商品化について参加者に意見を求められた。雑談の中であったが、軍艦にはディーゼルではなく蒸気タービン、ガスタービンが使われる理由は、ディーゼルは音が大きく潜水艦のソナーに発見される。蒸気タービン・ガスタービンは音が小さいので軍艦の主要なエンジンとして使われた。現在は使い勝手の点で先進国ではガスタービンが主流であるとの説明があった。更に、スターリングエンジンは歴史を良く見ると、失敗の歴史。大出力(100kW級)スターリングエンジンの成功例はない。しかし現在では小出力のフリーピストンが実用エンジンとして出現してきた。当面はフリーピストンの時代となろう。このエンジンは海外製であるが、これを用途開発して利用することがスターリングエンジンの普及への道であるとの説明があった。

伊藤さんからは、用途としては、プレスでは空気圧でブレーキをかけているものがある。その場合は弁が使われ、瞬間的に弁を開きプレスを落下させることを行っている。また急速排気弁と言うものがある。これは吸引排気によりピストンを落としてシリンダ内の残気が残らないように排気するものである。メーカーとしては東京都板橋区高島平にアズビルTACO(株)という会社があるとの説明があった。

続いて、前回の例会で説明された(株)エネショウの藤原雅仁社長からもう一度説明していただいた。(説明が前回の内容と重複するところがあるので詳しくは「イグレンニュース10月号をご覧ください)今回は、既存の取扱商品であるポータブル水素発電機について、発電できるまでの様子が動画で詳しく説明された。準備して発電が始まるまでの時間は5分ほど掛かり、燃料カートリッジ一個で4、5時間持ちますし、交換時にはリチウム電池が内蔵されているので連続して使えますとのことであった。

森さんからは、水素化マグネシウム(MgH₂)は抗菌性があるというのでサンプルを頂いてテストしてみたがうどんこ病は良くならなかった。野菜などは、葉に噴霧するより液に浸した方が良いように思うなどの意見が述べられた。

「地域を支える業者の底力と経済振興」で商工交流会盛況

芝 忠

11月6日、イグレン加盟の神奈川県商工団体連合会主催の第10回商工交流会が東神奈川で開催され、県下の小規模商工業者が106人参加、午前は「こうやって商売を切り開く」のパネルディスカッション、午後には、「小規模事業者持続化補助金獲得と経営対策」と「経営を脅かす税・国保・社会保険料から経営とくらしを守る」の2つの分科会が行われ活発な意見交換がなされました。パネルディスカッション(芝がコーディネータ)では、製造業(金属加工)の(有)柳沢精機(川崎中原)、建設業(通信機器設置工事)の(有)ベルコム(大和)、商業(鮮魚店)のちくまや(川崎多摩麻生)、サービス業(介護事業)の株遠藤ヘルパーステーション(横浜南部)の4者がそれぞれ厳しい環境下、事業拡大の苦労話が紹介されました。製造業や建設業では仕事は出来るだけ受けて、断らない。出来ない場合は仲間の助けを受けてとにかくやってしまう。「あそこはなんでもやってくれる」という評判がクチコミで広げることが大切だ。商業ではとにかく日ごろのあいさつなどのつながりが重要、介護事業では、国の政策変更で、人件費への圧迫と過当競争のなかで、どう人材確保や賃金の確保を展開させるかの工夫と。サービス内容を増やしていった7つのサービスをやり、関係職場で200人を超える職員が働いていることが語られました。

午後の「小規模事業者持続化」補助金の分科会では恩田さん(横浜緑)、TELA企画(寺岡さん横浜緑)、行政書士の長岡さん(横浜南部)から実例報告があり、パソコン以外は50万円の範囲で色んなものに使えるということが分かり、「とにかく挑戦が重要」。申請作業も大変だけど、自分の仕事の見直しと今後の方向性が整理され、展望が明るくなる。「だからやるべきだ」(恩田)。私も同感です。

いま「中小企業振興条例」の活用が問題になっていますが、本年4月に施行された川崎市の条例は①金融機関への規制②若者・女性・高齢者の参加③行政内部の有機連携④他の施策に対する「考慮」⑤中小企業者の意見聴取機構(専門部会)の設置⑥受注機会の強化など、全国的にも優れた内容です。イグレンとして11月2日、市の経済労働局長に会ってさらなる積極的な条例運用を要望してきました。社会保険料支払い遅延などについて、関係部局の「考慮」が必要です。この「川崎方式」を全県下に普及して、中小業者の方がより一層頑張れる環境づくりをつくりましょう。11月4日から新たな補助金募集が始まりました。お手伝いしますから挑戦しましょう。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

【第177回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2016年11月28日(月) 午後3時30分～5時15分 協議会 その後 交流会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター(神奈川県異業種連携協議会) TEL: 045-228-7331
3. 次第：詳細は追ってご連絡致します。

○メイン講師：元日韓産業技術協力財団 常務理事 山崎 弘氏

タイトル：日本の寺・韓国の寺について

要旨：日韓両国の歴史・文化・美術に影響を与えている仏教の世界、寺院および国宝・寺宝について紹介。また世界の宗教の歴史、分布俯瞰、現在日本の仏教が抱える問題点についても紹介される。

会費：1,000円、

尚、12月度は例年通り休会となります。

「まんてんプロジェクト」見学会・講演会開催案内

まんてんプロジェクト会長 滝澤 清

(株)ミットヨ川崎工場およびミットヨ博物館の見学会と講演会を企画いたしました。皆様もご存知のように(株)ミットヨは国内有数の精密測定機器総合メーカーです。また、博物館の収蔵物は近代化産業遺産群の認定遺産となっています。ものづくりの取り組みに参考となると思われますので、ぜひご参加ください。参加ご希望の方はメールまたは下記申込み書に記載の上 FAX または Email で **12月2日(金)**までに事務局宛にお申し込みください。見学者名簿を整理する必要がありますので、期日までのご協力をお願いいたします。

1. 開催日時:平成28年12月13日(火)
2. 見学場所:(株)ミットヨ川崎工場およびミットヨ博物館 (川崎市高津区坂戸1-20-1)
3. 参加費:無料 TEL:044-813-1601
4. 集合場所:JR南武線 武蔵溝ノ口駅 改札口前 12時30分(時間厳守)
5. 見学会スケジュール
13:00-15:10 挨拶、講演会『航空機部品の測定と測定機の最新動向』(途中で休憩入れます)
15:10-15:30 休憩、移動
15:30-16:45 工場&ミットヨ測定博物館 見学 16:45-17:00 質疑応答 17:00 解散

- 問合わせ: まんてんプロジェクト事務局 愛 恭輔
〒249-0005 逗子市桜山4-4-14 TEL:046-801-0487
参加のお申し込みはFAXまたはEmail でお願ひします。
FAX : 046-871-7520 Email : mantenpi.c.m@gmail.com

【NPO法人 C&S経営支援協会】

NPO理事長 松井利夫

「中小企業会計啓蒙・普及セミナー」開催のお知らせ

先月号で「中小企業会計啓蒙・普及セミナー」開催のお知らせをしましたが、開催期日が迫ってきましたのでもう一度お知らせします。

「中小企業会計啓蒙・普及セミナー」を下記の要領で11月25日(金)18:30~20:30に神奈川中小企業センタービル6階の特別研修室で開催します。このセミナーは、中小企業の実態に即して作成された会計ルールである「中小会計要領」に沿った会計処理方法を中小企業経営者・管理監督者を対象に丁寧にご説明しますので是非ご参加くださいますようお願いいたします。

「中小企業会計啓蒙・普及セミナー」

1. 開催日時 平成28年11月25日(金) 18:30~20:30
2. 会場 神奈川中小企業センタービル6階の特別研修室
3. 対象 中小企業経営者・管理監督者
4. 受講料 無料
5. 講師 中小企業診断士 小林 巽

(詳しくは添付しました開催案内と「中小会計要領」のリーフレットをご覧ください)

【申込・問合せ先】NPO C&S 経営支援協会

TEL/FAX : 045-845-1566

E-Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

いろいろな意義がある「水耕有機栽培」プラント見学レポート

株式会社エネショウ 代表取締役 藤原雅仁

10月25日、テーブルホーンズ株式会社の水耕有機栽培実証プラントの見学に、イグレン専務理事の芝さんと共に伺った。プラントと言ってもマンションの一室である。当然有効面積は限られている、フローリングの床の上に支柱とビームで組上げるラックを使い、上方空間の有効利用がなされている。



野菜の生育に欠かせないのは光・水・栄養＝肥料、有機栽培だから化学肥料は使わない、微生物の力を活用して育て上げる。しかし、本来の水耕栽培ならば、化学肥料を使用しており、逆に微生物は水を腐敗させるとして、除菌されてしまう。社長の森さんは、そこに矛盾を感じ有機肥料による水耕栽培を成功させ、より効率的により美味しい野菜を育てられるよう実証実験を行っている。

光はLED、水は土中の微生物を水中に移植した有機養液、そこに天然由来の栄養素を加える。中には本来廃棄物として捨てられてしまうものを引き取り、独自に発酵させて養液中に溶けこませているものがある。現在はその用法と価値の実証に特に力を注がれている。

株式会社エネショウは、加水するだけで「安心・安全・確実」に水素を発生することができる水素吸蔵合金、水素化マグネシウム (MgH₂) を独自加工にてペレット状にしたものを活用する事業展開をしている。その機能性の証明として第三者機関*において「水素発生継続性・抗酸化性・抗菌性」について検査を依頼し、いずれも性能を裏付ける期待通りの結果が得られている。 *詳細データ開示はこちら

→ <http://www.ene-show.co.jp/labdata.html>

事業発表をさせていただいた新事業新技術支援フォーラムに森社長も出席されており、水素とミネラル分であるマグネシウムの組合せと、殺菌作用があることに注目され、有機水耕栽培に活用できないかと考えられた。そこで、タブレット状にした MgH₂ を水に浸し、水素水とした水溶液（水酸化マグネシウムとしても溶解）の葉面散布実験を提案していただいた。

もともとマグネシウム葉面散布は栽培の中でも処置としておこなわれていることもあり、なおかつ、葉面の病気「うどんこ病」などの対処法として殺菌作用があるのならば試してみたいということであった。農薬は撒けない。有機栽培であり、室内環境のため当然なのだ。

写真のように数日前から試していただいているとのことだが、この時点では効果は定かではないとのこと、例えば濃度と頻度、撒き方など様々な要因による比較テストを繰り返しおこなう必要はあるのだろう。そのうえで、何かしら効果の実証がされれば MgH₂ の新たな分野での可能性がひろがり、それを弾みにさらなる事業展開が可能となるので期待される場所である。

葉物野菜はもちろんのこと、ナス・キュウリ・トマトなどの果菜類、最近では根菜まで取組んでいる。その場でもぎたてを味見させていただいたが、みずみずしく十分美味しかった。糖度アップなど食味に関してはこれからも研究をかさねていくとのこと、期待しています。

まだまだ改善、発展の余地のある水耕有機栽培、新しい技術を進化させるためには事業化が必要である、事業計画を拝見した。採算が合わぬやらなんやらで野菜工場の撤退というニュースをよく耳にする、それとは一線を描く計画、キーワードは「身近」かな。だからこそ安全・安心・環境保全是欠かせない、その意味では理に適った栽培方法である。

【 川崎異業種研究会 】

川崎商工会議所 桂 千香

< 9月定例会 >

9月8日(木) 当所にて、会員13名、オブザーバー1名、見学者2名、和光大学学生5名の参加を得て開催した。

今回は和光大学 経済経営学部教授 和智 達也氏を招き、「TPPにおける日本のメリット・デメリット(農業的視点より)」と題し講演が行われた。TPPが、というよりも地球規模でこれからもさらにグローバル化が進むことが、日本農業にどのような意味をもつのか、衰退傾向にある日本農業の実態とその理由、農産物貿易の自由化の必然性、そしてこれから「ありうる」展開について、具体例をあげながら説明がなされた。輸入に依存しながらも膨大に発生する食品ロスの問題などもあげ、身近なところから「関心を持つ」ことの重要性が語られた。参加者は熱心に耳を傾け質疑応答も活発であった。その後、懇親会を行い講師も同席、終始和やかな雰囲気での親睦を深めた。



【講師の和智氏】



【9月分科会講演風景】

< 9月分科会 >

9月1日(木) 午後6:30より「中原市民館」第1会議室にて、会員7名、和光大学生10名の参加を得て開催した。今回は、講師に日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部 加藤 康二氏を招き『台湾事情について～経済動向を中心に～』というテーマで、講演が行われた。海外赴任の長かった講師のわかりやすい説明で、台湾の経済動向について講演いただいた。その後場所を移して懇親会を開催し、来る10月の台湾海外視察に向けて、より深く話ができて、おおいに盛り上がった。

	尾上町サロン	西湘サロン 第66回	海老名サロン 第37回	三浦半島経済人サロン 第73回
日程	12月02日(金) 18:00~20:30	01月23日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	12月14日 15:00~	11月16日(水) 18:00~ 開場は17:30~
場所	中小企業センター703 イグレン事務局	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川県産業技術セン ター2F 講義室6 海老名市下今泉705-1	神奈川新聞社 横須賀 支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	毎月1回 、第一金曜日に開催。ざっくばらんに語り合う場 参加費:1,000円	「関東学院大学 材料・表面工学研究所のここがすごい!」新しいめっき技術と夢の超はっ水技術で世界をリードする 関東学院大学 材料・表面工学研究所 副所長・教授 高井 治氏 参加費:1,000円	今月は忘年会 会費:4,000円	「三浦特産のミニ冬瓜料理の紹介」蘇武氏 「三浦での廃棄物処理と活用の近況」千葉氏 参加費:1,000円

先日行われたアメリカ合衆国の大統領選でドナルド・トランプ氏が勝利を収めました。来月19日の選挙人による投票で270人を超える選挙人がトランプ氏に投票した場合、晴れて第45代大統領となります。就任は年明けの1月20日です。このトランプ氏の勝利により市場も反応、急な円安となっています。政治家としての実務経験がないだけに心配される声もありますがビジネスの世界で鍛えられたセンスというものは顕在。抜本的な構造改革の可能性もあります。良い政治家だったと言われるのかどうかはこれから築き上げる歴史が証明することでしょう。喧々譁々とやって来たTTPの行方も分かりません。アメリカが風邪を引けば風邪をひくという今までの状況から脱却し、諸外国に対して強いメッセージを発信できる政治家がこれから必要となってくる気がします。目が離せない今日この頃です。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。
神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)
ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝
【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベーションルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com